



平成21年8月期 第3四半期決算短信

平成21年7月15日

上場会社名 グローウェルホールディングス株式会社 上場取引所 東証第二部  
 コード番号 3141 URL <http://www.glowell.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田隆右  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ財務経理本部長 (氏名) 佐藤範正 TEL (048)662-7711  
 四半期報告書提出予定日 平成21年7月15日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第3四半期の連結業績 (平成20年9月1日～平成21年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第3四半期	142,184	—	4,015	—	4,317	—	1,704	—
20年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年8月期第3四半期	121	29	—	—
20年8月期第3四半期	—	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年8月期第3四半期	88,813		26,466		28.8		1,817 50	
20年8月期	—		—		—		—	

(参考) 自己資本 21年8月期第3四半期 25,535百万円 20年8月期 一百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期(予想)	—	—	—	35 00	35 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年8月期の連結業績予想 (平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	193,000	—	5,450	—	5,610	—	2,300	—	163	69

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
[新規 1社(社名 寺島薬局株式会社)  
[(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
[(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無  
② ①以外の変更 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |             |             |    |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|----|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  |             |             |             |    |
|                      | 21年8月期第3四半期 | 14,065,198株 | 20年8月期      | 一株 |
| ② 期末自己株式数            |             |             |             |    |
|                      | 21年8月期第3四半期 | 15,244株     | 20年8月期      | 一株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) |             |             |             |    |
|                      | 21年8月期第3四半期 | 14,050,267株 | 20年8月期第3四半期 | 一株 |

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

当社は、平成20年9月1日にウエルシア関東株式会社と株式会社高田薬局が経営統合し、株式移転により共同持株会社として設立されたため、当連結会計年度が第1期となり、前事業年度及び前年同四半期実績はありません。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、世界的な景気減速を受け、企業業績の不振による雇用情勢や所得環境の悪化から生活防衛意識が高く、引き続き節約思考の動きが見られるなど、依然として厳しい環境が継続しております。

ドラッグストア業界におきましては、消費者の低価格志向、改正薬事法の施行に伴う異業種の参入、M&Aや資本・業務提携の業界再編など大きな変革の波を受け、今後は更なる独自性や差別化戦略が問われる状況となっております。

このような状況下におきまして、ウエルシア関東株式会社（以下、「ウエルシア関東」という）と株式会社高田薬局は、平成20年9月1日に共同株式移転方式によりグローウェルホールディングス株式会社（以下、「当社」という）を設立いたしました。また、平成20年11月にはウエルシア関東が公開買付けにより、寺島薬局株式会社をグループ傘下の企業としております。

当第3四半期連結会計期間には、ウエルシア関東が株式会社ドラッグフジイからの営業譲受により、新潟地区10店舗を取得し、また、ミニストップ株式会社との共同展開により、従来の「ドラッグ&コンビニ」店舗をさらに進化させた店舗を平成21年5月にオープンしております。

店舗の出店・閉店につきましては、ウエルシア関東が営業譲受により取得した10店舗を含めグループ全体で新規58店舗を出店し、10店舗を閉店しました。当該四半期末の店舗数は562店舗となっております。

この結果、第3四半期累計の業績は、売上高は142,184百万円、営業利益4,015百万円、経常利益4,317百万円となり順調に推移いたしました。四半期純利益は平成20年11月に子会社化した寺島薬局におきまして、減損損失を計上した事等により、1,704百万円となりました。

出店・閉店の状況

(単位：店)

	期首店舗数 (平成20年9月1日)	出店数	閉店数	第3四半期末店舗数 (平成21年5月31日)
ウエルシア関東及び子会社 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	312 (236) (205)	41	7	346 (271) (235)
高田薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	100 (25) (8)	7	3	104 (43) (20)
寺島薬局及び子会社 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)		10	—	112 (23) (39)
合計 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	412 (261) (213)	58	10	562 (337) (294)

また、品目別売上高は、下記の通りとなりました。

区 分	金額(百万円)
医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品	39,813
調剤	10,172
化粧品	27,742
家庭用雑貨	21,257
食品	33,672
その他	9,526
合計	142,184

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期末における総資産は、88,813百万円となりました。うち、流動資産は40,840百万円、固定資産は47,973百万円であります。

流動資産の主な内容は、現金及び預金10,855百万円、売掛金3,296百万円、商品23,499百万円であります。

固定資産の主な内容は、有形固定資産22,064百万円、無形固定資産11,734百万円、投資その他の資産14,173百万円であります。

(負債)

当第3四半期末における負債合計は、62,346百万円となりました。うち流動負債は45,592百万円、固定負債は16,754百万円であります。

流動負債の主な内容は、買掛金27,602百万円、固定負債の主な内容は、長期借入金12,233百万円であります。

(純資産)

当第3四半期末における純資産額は、26,466百万円となりました。

(自己資本比率)

当第3四半期末における自己資本比率は、28.8%となりました。

(1株当たり純資産額)

当第3四半期末における1株当たり純資産額は、1,817円50銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期における現金及び現金同等物は、9,913百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,244百万円の増加となりました。これは税金調整前四半期純利益3,480百万円に対して、主な増加要因として減価償却費1,446百万円、仕入債務の増加1,481百万円及び主な減少要因としてたな卸資産の増加による支出1,952百万円があったこと等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、13,157百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産の取得に伴う支出3,320百万円、敷金の差入による支出1,207百万円及び連結の範囲の変更を伴う株式の取得による支出7,658百万円があったこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、12,851百万円の増加となりました。これは主に長期借入金による収入13,110百万円及び長期借入金の返済による支出2,442百万円があったこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月期通期の業績予想につきましては、現時点では「平成21年8月期 第1四半期決算短信」(平成21年1月14日付)において公表いたしました予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規連結：寺島薬局株式会社

当社の連結子会社であるウエルシア関東株式会社が、平成20年11月11日付で寺島薬局株式会社の株式を公開買付けにて取得したことに伴い、新たに当社の連結子会社となりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、当期首以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められるので、当期首において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

当社は、平成20年9月1日にウエルシア関東株式会社と株式会社高田薬局が経営統合し、株式移転により共同持株会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、当該事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

		当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金		10,855
売掛金		3,296
商品		23,499
その他		3,190
貸倒引当金		△2
流動資産合計		40,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）		12,196
土地		4,691
リース資産（純額）		3,732
その他（純額）		1,443
有形固定資産合計		22,064
無形固定資産		
のれん		10,957
その他		777
無形固定資産合計		11,734
投資その他の資産		
差入保証金		11,379
破産更生債権等		77
その他		2,794
貸倒引当金		△77
投資その他の資産合計		14,173
固定資産合計		47,973
資産合計		88,813
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金		27,602
短期借入金		9,852
未払金		2,031
未払法人税等		670
賞与引当金		381
ポイント引当金		1,373
その他		3,681
流動負債合計		45,592
固定負債		
社債		835
長期借入金		12,233

(単位：百万円)

当第3四半期  
連結会計期間末  
(平成21年5月31日)

退職給付引当金	367
役員退職慰労引当金	577
その他	2,740
固定負債合計	16,754
負債合計	62,346
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,000
資本剰余金	14,271
利益剰余金	10,294
自己株式	△32
株主資本合計	25,533
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	2
評価・換算差額等合計	2
少数株主持分	930
純資産合計	26,466
負債純資産合計	88,813

(2) 四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)
売上高	142,184
売上原価	101,066
売上総利益	41,117
販売費及び一般管理費	37,101
営業利益	4,015
営業外収益	
受取利息及び配当金	95
協賛金収入	135
その他	327
営業外収益合計	558
営業外費用	
支払利息	193
その他	63
営業外費用合計	256
経常利益	4,317
特別利益	
固定資産売却益	12
貸倒引当金戻入額	4
受取補償金	9
その他	3
特別利益合計	30
特別損失	
店舗閉鎖損失	40
固定資産除却損	12
投資有価証券売却損	32
投資有価証券評価損	93
減損損失	381
たな卸資産評価損	298
その他	8
特別損失合計	866
税金等調整前四半期純利益	3,480
法人税、住民税及び事業税	2,017
法人税等調整額	△211
法人税等合計	1,805
少数株主損失(△)	△29
四半期純利益	1,704



第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
売上高	53,493
売上原価	38,219
売上総利益	15,274
販売費及び一般管理費	14,015
営業利益	1,258
営業外収益	
受取利息及び配当金	26
協賛金収入	13
その他	117
営業外収益合計	157
営業外費用	
支払利息	77
その他	12
営業外費用合計	89
経常利益	1,326
特別利益	
受取補償金	9
その他	0
特別利益合計	10
特別損失	
店舗閉鎖損失	9
固定資産除却損	2
その他	1
特別損失合計	13
税金等調整前四半期純利益	1,323
法人税、住民税及び事業税	447
法人税等調整額	240
法人税等合計	688
少数株主損失(△)	△13
四半期純利益	648

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年9月1日  
至 平成21年5月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,480
減価償却費	1,446
減損損失	381
のれん償却額	809
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	133
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	47
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	33
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	226
受取利息及び受取配当金	△95
支払利息	193
売上債権の増減額 (△は増加)	△417
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,952
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,481
投資有価証券売却損益 (△は益)	32
投資有価証券評価損益 (△は益)	93
有形固定資産売却損益 (△は益)	△12
固定資産除却損	12
固定資産受贈益	△70
為替差損益 (△は益)	2
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△45
その他	1,165
小計	6,943
利息及び配当金の受取額	85
利息の支払額	△193
法人税等の支払額	△2,590
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,320
無形固定資産の取得による支出	△90
子会社株式の取得による支出	△718
敷金の差入による支出	△1,207
敷金の回収による収入	143
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△7,658
その他	△307
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,157

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年9月1日  
至 平成21年5月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,726
長期借入れによる収入	13,110
長期借入金の返済による支出	△2,442
社債の償還による支出	△111
配当金の支払額	△172
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△256
自己株式の取得による支出	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,851
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,935
現金及び現金同等物の期首残高	5,188
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	789
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,913

(4) 継続企業の前提に関する注記

当該事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日）

	資本金 (百万円)	資本剰余金 (百万円)	利益剰余金 (百万円)	自己株式 (百万円)	株主資本合計 (百万円)
前期末残高	3,115	3,964	8,762	△31	15,810
当第3四半期末までの変動額					
株式移転による変動額	△2,115	10,306		0	8,192
剰余金の配当			△172		△172
四半期純利益			1,704		1,704
自己株式の取得				△1	△1
当第3四半期末までの変動額合計	△2,115	10,306	1,531	△0	9,722
当第3四半期末残高	1,000	14,271	10,294	△32	25,533

(注) 当社は、平成20年9月1日付でウエルシア関東株式会社と株式会社高田薬局の共同株式移転として設立しております。

なお、当第3四半期連結財務諸表は、完全子会社となったウエルシア関東株式会社の財務諸表を引き継ぎ、期首に設立したものとみなして作成しております。

「参考事項」

(重要な後発事象)

当社は、平成21年6月2日開催の取締役会において、当社を完全親会社とし、株式会社イレブン  
を完全子会社とする株式交換を行うことについての、基本合意書を締結することを決議しまし  
た。

1. 株式交換の目的

株式会社イレブンは、南大阪地区におけるドラッグストア企業としてNo.1の地位を確立してい  
る企業であり、これまで当社グループで展開していなかった関西地区におけるコア企業を確立す  
ることができ、今後の関西戦略を優位に進めることが可能であるとの判断によるものです。

2. 株式交換により完全子会社となる会社の概要

商 号：株式会社イレブン  
事業内容：ドラッグストア・調剤薬局事業  
本店所在地：大阪府堺市南区大庭寺756番地  
代 表 者：代表取締役社長 槌屋 茂康  
資本金：70百万円

3. 株式交換の内容

①株式交換の日程

基本合意書承認取締役会	平成21年6月2日
基本合意書締結	平成21年6月2日
株式交換契約書承認取締役会	平成21年8月上旬(予定)
株式交換契約書締結	平成21年8月上旬(予定)
株式交換効力発生日	平成22年3月1日(予定)

②株式交換の方法

会社法第767条に定める方法により、株式会社イレブンの株主が保有する株式を当社が取得し、  
株式会社イレブンの株主に対して、当社の普通株式を割当交付します。

なお、本株式交換は、会社法第796条第3項の規定に基づく簡易株式交換であり、当社は、会社  
法第795条1項に定める株主総会の承認を得ることなく行うものであります。

③株式交換の内容等

(イ)株式交換の内容

当社を完全親会社とし、株式会社イレブンを完全子会社とする株式交換であります。

(ロ)株式交換に係る割当の内容

会 社 名	グローウェルホールディングス 株式会社(株式交換完全親会社)	株式会社イレブン (株式交換完全子会社)
株 式	普通株式	普通株式
株式交換比率	1	19.5
株式交換により 交付する株式数	普通株式：2,749,500株 (グローウェルホールディングス株式会社は、新株式を発行して株式の割当 に充当する。)	

(ハ)株式交換に係る割当の内容の算定方法

当社は、株式交換比率算定に当たり、その公平性を担保するため第三者機関である株式会社イン  
ターリンクに株式交換比率の算定を依頼し、その算定結果を参考として当事者間で決定いたしまし  
た。